

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.150

2012/05/25

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

各種保全作業順調に進む



レイカディア大学米原校32期生保全作業 (12/05/17)

雪解けが遅れ保全作業の開始が例年より遅れて始まり、作業の進展が危ぶまれました。加えてササユリの食害発生が早まり多種多様な作業に振り回されましたが、幸いボランティアのみなさんや会員・森林キーパーの頑張りで何とか乗り切ることが出来ました。こうした保全活動の成果が自分たちでも確認できるようになるとともに、世間にも認知が



沢沿い岩上ササユリ保護ネット設置 (12/04/17)



ミヤコザミ食害防止ネット設置 (12/04/20)

に、世間にも認知が広がり他府県の団体や大学の研修や講義にも活用されるようになってきました。また今年度から地元の西浅井中学校が継続的に保全活動に学校として取り組んでももらえるようになってきました。次の世

代に引き継ぐという本会の初期の目標に少しずつ近づいていることは喜びに堪えません。他方一般の来訪者も増加しておりガイド要請の一部はお断りしているという状態になってきました。



大勢の会員で付属湿地除草 (12/05/19)



森林キーパーによる木柵補修 (12/05/19)

Photo. by FUJISAWA



2006年以來のブナの大発芽

ブナの出芽の様子(左から右へ進行)



県境のブナの純林(12/04/29)

Photo. By NISHIKAWA

昨年は 2005 年以來のブナの大豊作でした。ただ種子の充実期に台風に見舞われ未熟で落果したものが多く今春の出芽が心配でした。出芽は順調に進行しましたが、調査範囲で数は予想通り 2006 年の約半分となりました。

2006 年 (5/31 調査) 996

2012 年 (5/14 ・ 5/16 調査) 423

今冬県境のブナの純林(「山門水源の森」の範囲外)を初めて確認しましたが、新緑の純林の観察会を 4 月 29 日に実施し多くの会員がその見事さに感動すると共に何とか保全できないものかと語り合いま

した。残雪が遅くまでありましたが、この時期になって生物の営みは例年通りの状態に戻りました。付属湿地のヒツジグサ・サウラン・モリアオガエルの産卵なども例年通りの状況になっています。

森林キーパー活動開始 3 月末で森林レンジャーの期間が終了し、5 月 1 日から 1 年間「森林キーパー」(愛称)3 名が国の緊急雇用制度で活動して貰っています。毎日森で保全作業に尽力して貰っています。森での保全作業の種類は多く日々の会員の活動だけではとても現在の状況を維持することは無理なので助かります。



森林キーパーのみなさん

苗村さん

富岡さん

指導者: 藤澤さん